



平成30年11月2日

各 位

会 社 名 日本パレットプール株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 和志
(コード番号： 4690)
問合せ先 財務部長 曾我 智樹
(TEL. 06-6373-3231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年8月7日付の「平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,400	百万円 50	百万円 120	百万円 60	円 銭 71.29
今回修正予想(B)	6,545	130	170	90	106.95
増減額(B-A)	145	80	50	30	—
増 減 率	2.3%	160.0%	41.7%	50.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	6,244	△7	96	47	56.48

(注) 当社は、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしました。これに伴い、前事業年度の期首に当社株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、当社の主力である石油化学樹脂関連企業向けのレンタル数量が、当初予想を上回って好調に推移したため、第2四半期累計の取引状況を考慮して、前回予想から修正することといたしました。

また、利益面では、レンタル需要の拡大に応じてパレット・機器の新造投資を増やしたため、減価償却費が増加したものの、現有資産の有効活用や運用面の効率化に努めたことで、レンタル事業の採算性が向上し、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見込みとなりましたので修正することといたしました。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上